

平成29年度第1回 富士見市いじめ問題対策連絡協議会会議録要旨

<日時> 平成29年10月30日(月) 午後1時25分～2時35分

<開催場所> 市役所1階 全員協議会室

<出欠状況>

井上	堀川	児玉	寺島	戸塚	原田	山川
欠席	○	○	○	○	○	欠席
山中	今泉	佐藤	大原	佐野	和田	久米原
○	欠席	○	○	欠席	○	○
北田						
○						

<事務局>

子育て支援課長 学校教育課長 子育て支援課副課長
子育て支援課主事

<傍聴人> 0名

<次第>

- 1 開 会 子育て支援課長
- 2 委員自己紹介
- 3 いじめ問題対策連絡協議会の役割について
- 4 会長及び副会長選出
- 5 議 題
 - (1) 市内小学校・中学校いじめの実態及びいじめ防止基本方針の見直しについて
 - (2) いじめ防止サポーターの活動について
- 6 事務連絡
- 7 閉 会

<議事>

- (1) 市内小学校・中学校いじめの実態及びいじめ防止基本方針の見直しについて

～学校教育課より説明～

【事務局】補足ですが、お手元にあります「富士見市いじめ防止基本方針」は改定前のもので、今見直しを行っているところです。

【委員】いじめの件数はどのように把握しているのですか。

【委員】ふじみ野小では様々な方法で行っていますが、先生や保護者からの聞き取り、周りの保護者や子どもからの情報提供、また「困ったことアンケート」というものを、当初は年3回でしたが回数を増やして5回行っています。

【委員】西中ではいじめアンケートを6、9、11、2月に行っており、いじめが継続しているのか、解消しているのか。継続している場合には全力で対応しています。

※「資料2 市内小学校・中学校いじめの実態について」は非公表資料

(2) いじめ防止サポーターの活動について

～事務局より説明～

【委員】南畑放課後児童クラブの取組について、ご紹介いただきました。「こふわカード」は全クラブで取り組んでいます。クラブは1～6年生までいて、高学年の子が低学年の子を面倒みるという良い面もあるのですが、力の差もありプレッシャーとなる場合もあります。人数の多いクラブでは100名以上の子どもがおりますので、名前がわからないため、見た目の印象から「メガネ」と呼んで、相手が不快な思いをしてしまうということもあります。クラブにはいろいろな国の子どもたちがいます。戦争体験の話聞く機会では、子どもたちも理解をしていたのですが、あとで「お前の国と戦争したんだ」と言い合うようなことがありました。

【委員】みずほ台小の授業風景を見させていただく機会があり、感動しました。良い教育を受けていると思いましたし、とても良い子たちでした。そのような子どもたちが、ほかで起こってしまっているような大きな問題に、どうしてつながってしまうのかがわかりません。

【委員】いじめはやはり早期発見だと思います。

【委員】保護司会の取組としては、中学校2校ずつ、スマートフォンの使い方を業者の方に指導していただいています。今年は西中と富士見台中で実施しました。また、7月初めに市内3駅で「社会を明るくする運動」を実施し、啓発のためのチラシを配布しました。

【委員】言葉遣いには気をつけています。孫に対する対応は、自分が子にしたものとは違っていています。先ほどのメガネの話もそうですが、悪気はなく言った言葉でも、相手が嫌だと思える言葉は使わないようにしています。

【委員】相手の気持ちを考えずに、出てしまう言葉というのはあると思います。親子であっても家族であっても、やはり挨拶は大事で、市内の家庭に広がっていけばいいと思います。

【委員】家庭において、いじめに対し少しナーバスになっているのかなと感じる部分があります。子ども自身が解決する力をつけるということも必要なのではないかと思います。

6 事務連絡

次回は2月または3月ころを予定

7 閉会 副会長